

Curry rice is one of the most popular dishes in Japan. It originally came from India, but it was the British who introduced it to Japan, during the Meiji era.

The British learned how to make curry sauces in India in the eighteenth century and adapted them to their own needs. According to one story, when the British Navy started serving curry rice to sailors, they found that the sauce they used needed to be less watery. This was because when ships swayed on the waves, watery curry sauce could easily spill and was very messy. For this reason, they used flour to thicken it.

Curry rice wasn't popular as a home-cooked meal in Meiji Japan. It was only served at fancy restaurants, so not many people actually knew much about it. Also, the early Japanese recipe included unfamiliar things such as frog meat and long green onions.

It was during the Taisho era that curry rice became the dish we know today. Three major vegetables in today's curry sauce, potatoes, carrots and onions, began to be grown extensively in Hokkaido, and they soon became standard ingredients. At the same time, curry powder began to be produced within the country, so it became cheaply available to ordinary home cooks.

カレーライスとは日本で最も人気のある料理の一つである。それはもともとはインドに由来するが、明治時代にカレーライスを日本に紹介したのはイギリス人だった。

イギリス人は18世紀にインドでカレーソースの作り方を学び、それを自分たちの必要に応じて改良していった。一説によると、イギリス海軍がカレーライスを水兵の食事に出し始めた際、使用するソースの水分を減らす必要があることがわかった。というのも、船が波で揺れると水っぽいカレーソースはすぐにこぼれ、非常に扱いにくかったからだ。そういうわけで、彼らは小麦粉を使ってカレーソースにとろみをつけたのだった。

明治時代の日本では、カレーライスは家庭料理として普及しなかった。カレーライスは高級レストランでしか出されていなかったもので、カレーライスのことを実際によく知っている人は多くはなかった。また初期の日本のレシピには、カエルの肉や長ネギといった馴染みのない物が含まれてもいた。

カレーライスが我々が今日知る料理になったのは大正時代のことだった。現在のカレーソースに入っているジャガイモ、人参、玉ねぎという三大野菜が北海道で広く栽培され始め、じきに一般的な具となった。同時に、カレー粉が国内で生産されるようになったので、家庭で料理する普通の人にも安く入手できるようになった。

問 20 (質問) イギリス海軍がカレーソースにとろみをつけたのはなぜか？

- ① より安く料理できるようにするため。
- ② より扱いやすくするため。
- ③ より美味しくするため。
- ④ より特別にするため。

正解は ②。

イギリス海軍 (the British Navy) のことは第 2 段落で述べられている。その第 2 文 (According to one ...) から最終文 (For this reason, ...) にかけて、水っぽいカレーソースはこぼれやすく扱いにくかったので小麦粉を加えてソースにとろみをつけたということが語られていることから、②の「より扱いやすくするため」が正解。

他の選択肢の内容はどこにも言及されておらず、誤り。

問 21 (質問) 明治時代の日本でカレーライスが普及しなかったのは一つにはなぜか？

- ① 奇妙な材料が使われていたから。
- ② 健康に悪いと考えられていたから。
- ③ 作るのが難しすぎたから。
- ④ レストランで出されていなかったから。

正解は ①。

明治期の日本でカレーライスが普及しなかったことは Curry rice wasn't popular ... で始まる第 3 段落で述べられている。その最終文 (Also, the early ...) で、日本の当初のレシピにはカエルの肉や長ネギなど馴染みのない材料が含まれていたとあることから、①の「奇妙な材料が使われていたから」が正解。

②や③の内容は本文で述べられていないことから、誤り。④については、第 3 段落第 2 文 (It was only ...) に「高級レストランでしか出されていなかった」とあることと矛盾するので、誤り。

問 22 (質問) 大正時代にどのようなことがカレーライスに起こったか？

- ① 自家製のカレー粉が使われるようになった。
- ② 国内で最も人気のある料理になった。
- ③ 豚肉が一般的な具の一つになった。
- ④ レシピが現在のかたちに発展した。

正解は ④。

大正期のカレーライスのことは最終段落で述べられている。その第 2 文 (Three major vegetables ...) に、現在のカレーライスの一般的な具であるジャガイモ、人参、玉ねぎが北海道で栽培され始めたのを機に一般的な具となったとあることから、④の「レシピが現在のかたちに発展した」が正解。

①は、最終段落最終文 (At the same ...) に「カレー粉が国内で生産され始めた」とはあるが、「自家製のカレー粉」に関する言及はなく、誤り。②は、第 3 段落からのつながりとして、大正時代にはカレーライスが人気料理になったと推論することは妥当であるが、「最も人気のある」料理になったとまで推論することはできないし、本文でも明言されていない。③は、本文に言及がなく、誤り。

主な語句・表現

[第1段落] (Curry rice is ...)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ originally 「もともとは；本来は」 ◇ it was ... who ～ 「～したのは…だった」 the British (名詞句) を強調する強調構文。 ◇ introduce ... 「…を紹介する」 ◇ era 「時代」
[第2段落] (The British learned ...)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ curry sauce いわゆる「カレーのルー」のこと。 ◇ adapt ... to ～ 「…を～に合わせる；…を～に合わせて改良する」 ◇ one's own needs 「〈人の〉必要性；〈人が〉必要とするもの」 ◇ navy 「海軍」 ◇ sailor 「水兵」 ◇ sway 「揺れる」 ◇ spill 「こぼれる」 ◇ flour 「小麦粉」 ◇ serve 「〈食事〉を出す」 ◇ watery 「水っぽい；水分が多い」 ◇ easily 「すぐに；容易に」 ◇ messy 「扱いにくい；厄介な；物を汚す」 ◇ thicken ... 「…にとろみをつける；…を固める」
[第3段落] (Curry rice wasn't ...)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ home-cooked 「家庭で料理した」 ◇ early 「初期の」 ◇ fancy 「高級の」 ◇ long green onion 「長ネギ」
[最終段落] (It was during ...)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ It was ... that ～ 「～したのは…だった」 during the Taisho era という副詞句を強調する強調構文。 ◇ the dish (which [that]) we know today 「我々が今日知っている料理」 the dish を先行詞とする目的格の関係代名詞 which [that] が省略されている。 ◇ major 「主要な」 ◇ extensively 「広く；大々的に」 ◇ ingredient 「材料；具」 ◇ available 「入手可能な」 ◇ home cook 「家庭で料理をする人」 ◇ grow ... 「…を栽培する」 ◇ standard 「標準的な；一般的な」 ◇ within the country 「国内で」 ◇ ordinary 「普通の」 cooks を修飾する形容詞。

4 B

[設問解説での説明のために、Yuuki, Airi, Sota の発言には通し番号をふってあります]

- ① Yuuki : So, Airi, do you think more technology should be used in schools? Schools in other countries use Smart Boards nowadays. Teachers can access the Internet, and send mails or saved documents to other computers, as well as write on it.
- ② Airi : That sounds great, Yuuki. Teachers could send files to our individual screens, and classes could be more interactive. Lessons would be fun and we'd learn a lot more if we could do quizzes and play games related to our study on-line.
- ③ Yuuki : We'd also save time. Taking notes in class is a pain, but with a Smart Board, at a touch of a button the information we needed could be on a file in front of our eyes! The teacher could simply send files of essential information to each student. Students could chat about work outside of class, too. What do you say, Sota?

- ④ Sota : Hmm, aren't you forgetting something? The cost! You are suggesting that each student have their own computer in class. And though learning on-line may be interesting, kids would be tempted to play games or go onto social networking sites. Airi, you already get distracted easily in class!
- ⑤ Airi : True, but schools can easily block certain sites, and students could use tablets instead of computers. They are pretty affordable these days. Schools could lend electronic devices to students for a small fee. If the students look after the tablet they borrow well, they could get the money they paid back when they return them. Sota, it really could work!
- ⑥ Sota : I guess so, but taking notes by hand is still essential. As you put words to paper, the knowledge soaks into your brain. However, it would broaden our minds if we could chat with students abroad in English about various topics. OK, I'm convinced. Let's bring the 21st century into school!

- ①ユウキ：それで、アイリは学校でもっとハイテクが使われるべきだと思う？ 他国の学校では現在、電子黒板を使ってるよ。先生がそれに書くのは言うまでもなく、ネットにつなげて他のコンピュータにメールや保存された文書を送ることもできるんだ。
- ②アイリ：それってすごそうね、ユウキ。先生が私たち一人一人の画面にファイルを送れるだろうし、授業はもっと双方向のものになるんじゃないかな。授業は面白くなるだろうし、勉強に関連のある小テストやゲームをオンライン上でできれば、私たちはずっと多くのことを学ぶことになるでしょうね。
- ③ユウキ：それに時間の節約にもなるよね。授業中にノートをとるのはたいへんだけど、電子黒板があれば、ボタンを一押しするだけで、必要な情報が目の前のファイルに残せるようになるよ。先生は大切な情報のファイルを各学生に送るだけで済ませられるだろうね。学生は授業外で勉強のことについてチャットもできるだろうし。ソウタ、どう思う？
- ④ソウタ：う～ん、君たちは何か忘れていないかい？ 費用だよ！ 君たちは各学生が授業中に自分自身のコンピュータを持つと言っていることになるんだよ。オンライン

学習は面白いかもしれないけど、学生たちはゲームをしたり、SNSをやりたいという気持ちになるだろうな。アイリ、君はすでに授業中にすぐに気が散るよね！

- ⑤アイリ：それはそうだけど、特定のサイトは学校で簡単にブロックできるし、学生はコンピュータの代わりにタブレット PC を使えるんじゃないかしら。最近、タブレット PC の値段はかなりお手頃なのよ。学校でわずかの料金で学生に電子機器を貸し出すこともできるでしょうね。学生が借りたタブレット PC をきちんと管理すれば、返却時に払った分のお金を返してもらえるようにすることもできるわ。これって本当にうまくいきそうじゃない、ソウタ！

- ⑥ソウタ：そうは思うけど、でも自分の手でノートをとるのはまだまだ必要だよ。紙に文字を書き留めながら、知識は人の頭にしみ込んでいくんだ。ただし、いろいろな話題について外国の学生と英語でチャットができれば、僕らのものの考え方は広がるだろうな。わかった、納得したよ。学校にも 21 世紀を呼び込もう！

問 23 (質問) さらにハイテクを導入することの結果として、すべての話者の意見が一致しているのは何か？

- ① 学生全員が iPad を購入するだろう。
- ② コミュニケーションがやりやすくなるだろう。
- ③ 我々はもっと国際的になれる。
- ④ 我々は文字を書く必要がなくなるだろう。

正解は ②。

設問文に all the speakers agree (話者全員の意見が一致している) とあるので、ユウキとアイリとソウタの「3 名全員に共通する見解」を探す必要がある。ハイテクの導入による結果として、まずアイリの発言である②の第 2 文 (Teachers could send ...) 後半に「授業はもっと双方向のものになる」とある。次にユウキの発言である③の第 4 文 (Students could chat ...) に「学生は授業外で勉強のことについてチャットができる」とある。最後は、ソウタの発言である⑥の第 3 文 (However, it would ...) 後半に「いろいろな話題について外国の学生と英語でチャットができれば」とあり、それは彼が 2 人の意見に最終的に同意する理由ともなっている。3 名が述べた「双方向性・チャット」という内容を言い換えてまとめたものとして ② が正解となる。

① については発言⑤で話題になるタブレット PC が関わりそうだが、それはアイリの意見であり、しかも彼女は「買う」というより、学校から貸与されることを中心に語っている。また iPad という特定の品を推奨しているわけでもなく、いずれにしても誤り。③ に対応しそうな発言は発言⑥の第 3 文 (However, it would ...) の後半にあるが、外国の学生と英語で話すことが「国際的」と言えるかどうか定かではないし、そもそもこのような意見を述べているのはソウタだけであるので誤り。④ については、発言③の第 1・2 文 (We'd also save Taking notes in ...) に電子黒板の採用で学生はノートをとる手間が省けるだろうと述べられているが、それはユウキの意見に過ぎずこれも誤り。

問 24 (質問) 学校でさらにハイテクを導入することのどんな不利益が指摘されていたか？

- ① それは集中力に影響する。
- ② それは目によくない。
- ③ 電子黒板は高価である。
- ④ 学生が授業中にもっとよく話すようになる。

正解は①。

設問文より、「不利益 (disadvantage)」を指摘する必要がある。発言④の第4文 (And though learning ...) 後半に「学生たちはゲームをしたり、SNSをやりたいという気持ちになるだろう」とあるが、それは「授業に集中できなくなる可能性がある」ということなので、その意味を表す①が正解となる。集中力が鈍ることを、同じ発言④の最終文 (Airi, you already ...) で「すぐに気が散る (get distracted easily)」という表現で具体的に述べている箇所もヒントになるだろう。

②にある「目によくない」という指摘はどこにもない。③は発言④の第2文 (The cost!) に対応するように思うかもしれないが、ここでソウタが「費用がかかる」と言っているのは電子黒板のことではなく、授業中に各学生にコンピュータ (ないしタブレット PC) を持たせる際の費用のことなので誤り。④にある「学生が授業中にもっと話す」は不利益なことではなくむしろ利益だろうし、そもそもハイテクのクラス内への導入によって、学生がよく話す (発言する) ようになるとはどこにも述べられていない。

問 25 (質問) この会話によれば、学校側はどうやってハイテクを安全なものにできるのか？

- ① 海外の学校と協議する。
- ② 学生が目にするものを規制する。
- ③ ネットを活用した教育的な課題を行う。
- ④ 学生に電子メールで警告する。

正解は②。

クラス内へのハイテク導入の際、勉学の支障となりそうなオンラインゲームやSNSによって学生の気が散るかもしれないことに対して、アイリが発言⑤の第1文 (True, but schools ...) で「特定のサイトは学校で簡単にブロックできる」と述べているので、②が正解となる。

①の「海外の学校との協議 [相談]」、③の「ネットを使って教育的な課題を行う」、さらに④の「メールによる警告」などがハイテクの安全性を確保するという内容は本文にはなく、いずれも誤り。

主な語句・表現

[① Yuukiの発言]

(So, Airi, ...)

◇ saved documents 「(パソコンで) 保存された文書」

◇ A as well as B 「BだけでなくAも」 ここでは access ..., and send ... の2つの動詞表現がまとまってAに相当し、write ... がBに相当する。

[② Airiの発言]

(That sounds ...)

◇ individual 図「個々の；個人の」

◇ interactive 図「双方向の；対話形式の」

◇ quiz 図「小テスト」

◇ related 図「関係 [関連] のある」 related to ... 「…に関係のある」は全体で直前 (do) quizzes と (play) games の両方の名詞にかかる。

◇ on-line 「オンラインで；インターネットに接続して」 本文では副詞として do ... and play ~ にかかる。

- [③ Yuuki の発言]
(We'd also ...)
- ◇ in class 「授業中に」
 - ◇ pain 図 「苦勞；苦痛」
 - ◇ at a touch of ... 「…を一押しするだけで」
 - ◇ simply 圖 「単に；ただ」
 - ◇ chat 圖 「チャットをする」
 - ◇ What do you say? 「どう思いますか？；どうですか？」
- [④ Sota の発言]
(Hmm, ...)
- ◇ are suggesting ... この suggest は「…を示す；…だということを示唆する」の意味。
 - ◇ kid 図 「子供」ここでは「学生」のこと。
 - ◇ be tempted to - 「～したいという気持ちになる」
 - ◇ social networking site 「ソーシャルネットワーク＝[ウェブ] サイト (SNS)」
 - ◇ distracted 圖 「注意が散漫な」
- [⑤ Airi の発言]
(True, but ...)
- ◇ certain 圖 「特定の；ある種の」
 - ◇ tablet 図 「タブレット PC」
 - ◇ pretty 圖 「かなり；相当」
 - ◇ affordable 圖 「購入しやすい；手頃な」
 - ◇ fee 図 「料金」
 - ◇ look after ... 「…を管理する」
 - ◇ get ... back 「…を返してもらふ [取り戻す]」 なお they paid は the money にかかる関係代名詞節。
 - ◇ work 圖 「〈計画・方法などが〉うまくいく」
- [⑥ Sota の発言]
(I guess ...)
- ◇ by hand 「手書きで」
 - ◇ essential 圖 「不可欠の；必要な」
 - ◇ put (words) この put は「〈字など〉を記入する」の意味。
 - ◇ soak into ... 「…にしみ込む [しみ通る]」
 - ◇ broaden 圖 「…を広げる」
 - ◇ mind 図 「ものの考え方」
 - ◇ convinced 圖 「納得して」